

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和 6 年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年 4 月 24 日

団体名 岡崎ボードゲーム会

代表者 井伊 通

構成員 5 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

電源を使わないゲーム(ボードゲーム)を通じて、年齢、性別、文化などを越えたコミュニティの形成と交流を創出することを目的とする。また、ボードゲームを遊ぶことによって脳を活性化させ、思考力、分析力、協調力、集中力等を高め、子供の発育や高齢者の認知症予防に役立てる

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受 けた ものは？	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
2/14	岡崎市友愛の家	参加者	約 130	ボードゲーム会。参加費 400 円。幅広い年齢の参加者が一緒に楽しむことができた。
3/17	むらさきかん			
5/26				
8/11				
9/15				
10/14				
12/1				
12/22				
5/5	やはぎかん			
7/14				
10/13				
12/8				
6/29	やはぎかん	参加者	約120	やはぎかんと協業にてボードゲームを通じて防災を学ぶイベントを実施
5/19	北野学区公民館	参加者	約 30	こども食堂にてボードゲーム会
9/7	富永公民館	参加者	約 20	地域イベントに参加、6 歳から 80 歳が一緒に遊んだ。
12/7				

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。＜ex.自然環境＞

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

異なる年齢の参加者が対面で遊ぶことによって、交流を生み出し、集団生活を行う上での社会性を養った。思考力や記憶力など脳の活性化させることにより、子供の発育や高齢者の認知症予防に役立った

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← (5) 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

ボードゲームを通じて交流を創出できたため。また、様々な年齢の方に知識を遊びながら学ぶ場を提供できたため。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。